



笑い上戸



こぐまじゅんこ

私は、いつも笑っている。

人が真面目なことをしているときでも、ふとしたきっかけで笑いそうになる。

失礼になるから、と思って、手をつねったりして、ぐっところえることもたびたびある。

我慢できるときは、それでいい。

でも、ついうっかりニタニタしてしまうと、もうだめだ。

「何がおかしいんですか？」

と先生に指をさされてしまう。

しまったあ、と思う。

もう笑うのはやめようと思う。

でも、だめだ。

家に帰っても、テレビのお笑い番組が大好きで、いつもみてゲラゲラ笑っている。

母も、あきれて、

「ほんとうに、あんたはよう笑うなあ。ゲラ子じゃなあ。」
って言っていた。

でも、このところ、私は笑えなくなった。

私が、ゆみちゃんの失敗を笑ってしまったことから、ゆみちゃんのグループから白い目でみられるようになったから。

あんなにおかしかったことが、1日でちっともおかしくなくなってしまった。

いつもいつも心が沈んで苦しい。

笑わなくなると、おなかもすかないし、何もやる気がおきなくなった。

学校に行くのも、おっくうでたまらない。

家でじっとしていることが多くなった。

そんなある日、目の前に、ちっちゃいおじさんが現れた。

よくテレビで芸能人が話しているのを聞いたことがあるけど、

本当にいるんだ、と私はびっくりした。

ちっちゃいおじさんは、ちっちゃい体で腰をふりながら踊っている。

「すぎたるは及ばざるがごとし
って言うね。

笑いすぎには、気をつけて。

でも、笑うことはいいことだよ。

笑う門には福来る

って言うじゃないか。

昔の人の言うことは、だいたいまちがいないんだよ。

人の失敗を笑っちゃあ、だめだけどね。

ゆみちゃんには、心から謝っておいで。」

って踊りながら、言っている。

私は、

「うん、そうしよう。」

と決めた。

次の日、ゆみちゃんに心から謝って許してもらった。

そして、今では、ゆみちゃんと大の仲良しになって、

また大笑いしているんだ。